

2024年度 受講案内

IE士資格取得講座

Industrial Engineer IE士資格認定制度
全日本能率連盟資格登録第25号

生産革新プロフェッショナルコース (IE士養成コース)

磨き続けて「50年」、選ばれ続けて「50年」
IEのプロとして、生産革新リーダーを養成する研修



JMA 経営革新を推進する
一般社団法人日本能率協会

開催概要

日程

【第1回】2024年10月 7日(月) 13:00～17:00

会場参加

※会場参加が難しい場合はオンライン受講も受付いたします。

【第2回】2024年10月29日(火) 9:00～17:00

オンラインLIVE受講

【第3回】2024年11月13日(水) 9:00～17:00

オンラインLIVE受講

【第4回】2024年11月27日(水) 9:00～17:00

オンラインLIVE受講

【第5回】2024年11月28日(木)～29日(金)

オンラインLIVE受講

※2日間のうち、個人面談を30分/1人で実施します。 ※各受講者の面談日時は後日調整いたします。

【第6回】2024年12月12日(木) 10:00～17:00

会場参加

【第7回】2024年12月13日(金) 9:00～17:00

会場参加

会場

- 会場参加(第1回・第6～7回)は日本能率協会研修室(東京都港区芝公園)を予定しています。
- オンラインLIVE受講(第2～5回)は、Zoomを使用いたします。お申込みの前に必ずオンラインLIVEセミナー規約をご確認ください。
<https://school.jma.or.jp/pa/caOrE>
- 状況により会場を変更する場合がありますので、予めご了承ください。

対象

生産・製造部門のマネジャー、リーダーとその候補者
社内研修講師、ものづくり教育担当

※製造・生産部門や関連部門での実務経験が5年以上の方、改善・改革業務を行われたことのある方を主対象しております。詳しくはお問い合わせください。
場合によりお申込をお断りさせていただくこともございます。予めご了承ください。

参加料

(税込)

	日本能率協会法人会員	会員外
早期申込割引 参加料 (6月28日(金)迄)	671,000円/人 (税抜:610,000円/人)	726,000円/人 (税抜:660,000円/人)
通常参加料	693,000円/人 (税抜:630,000円/人)	748,000円/人 (税抜:680,000円/人)

※参加料には教材費・資料費、試験料が含まれております。通信費・ソフト購入費・交通費・宿泊費などの費用は含まれておりません。
※本講座開催最終日の消費税を適用させていただきます。
※法人会員ご入会の有無についてはHPをご確認ください。(https://www.jma.or.jp/membership/)
※参加申込規定はJMAマネジメントスクールのHP (https://school.jma.or.jp/)に掲載しておりますので、ご確認ください。

定員

20名

(催行人数11名に満たない場合、開催を中止することがあります)

キャンセル規定

お申込後、参加者の都合にてキャンセルされる場合、下記の規定によりキャンセル料をご請求いたしますのであらかじめご了承ください。

参加料の10%：開催30日前～8日前(開催日を含まず起算)

※但し、『テキスト、IEインストラクターマニュアルのいずれか』を
小会から発送した時点で参加料の30%

参加料の30%：開催7日前～前々日(開催日を含まず起算)

※但し、『テキスト、IEインストラクターマニュアルのいずれか』を
小会から発送した時点で参加料の50%

参加料の100%：開催日前日および当日

1



パソコン(各種検索サイト)からダイレクトで

セミナーID(半角数字) で検索

もしくは、<https://school.jma.or.jp/>

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申込みが難しい方は
JMAマネジメントスクールまでお電話にてお問い合わせください。
TEL : 03(3434)6271

2



スマートフォン
タブレットから



— まずは、お問い合わせください! —

申込に関すること(参加証・請求書・キャンセル・変更など)

JMAマネジメントスクール

TEL:03-3434-6271(受付時間:月～金曜日 9:00～17:00 祝日を除く)

E-MAIL:seminar@jma.or.jp

プログラム内容に関すること(研修内容・受講形式など)

一般社団法人日本能率協会 生産革新プロフェッショナルコース事務局

TEL:03-3434-1410(受付時間:月～金曜日 9:00～17:00祝日を除く)

E-MAIL:seisan@jma.or.jp



日本能率協会が進めるIE研修は、
世界のどこでも通じる基本的なものです

(2017年度受講生)

IE(インダストリアルエンジニアリング)とは

IEとは、Industrial Engineering(インダストリアル・エンジニアリング)の頭文字を取った略語で、「アイ・イー」と呼ばれています。IEは、生産現場の動作研究を行う技術として生まれました。

人・設備・材料・手段・情報の統合されたシステムを設計し、改善し、定着化するための基礎的な管理手法です。

IEでは、製造現場、製造工程での設計・改善・定着化を目指すなかで、“明示”と“評価”を行っていきます。

「製造現場はこのような生産性になります」

「製品の品質(Q)、費用(C)、リードタイム(D)はこのようになります」

ということをきちんと明示します。

明示すると、実際に出てきたものがそのとおりにになっているかどうか評価できます。

その際、工学上の分析や設計原則、数学、自然科学、社会科学などにおける専門知識や技法などを使います。

上述の内容から「IEは限られた人だけが扱える手法」のように思われるかもしれませんが。

しかし、活用する知識・技法は、数学、物理、科学だけに限らず、何でも良いのです。

つまり、生産システムを対象に改善や定着化、評価をするために活用される、あらゆるものがIEと呼ばれます。

そう考えると、IEを活用していない会社はないはずですよ。

みなさんは特別に意識をしていないかもしれませんが、毎日IEに触れているのです。

生産革新プロフェッショナルコースとは

日本能率協会の考える「生産革新プロフェッショナル」は、

- IEに関する知識に加え、
- ものづくり革新に必要な技術・知識を有し、
- 自社の強みを把握し、
- エンジニアリングチェーン・サプライチェーン全体の流れを幅広く捉え、
- 生産革新を実現する行動ができるリーダーシップを持つ

「人材」です。

本研修では、3か月間のプログラムを通して、IE士資格取得の知識習得だけでなく、今後の生産革新活動を担うリーダーシップや視野の広さを培います。

IE士認定条件

下記を総合的に評価し、IE士認定をいたします。

- IE士認定試験(筆記試験)
- 個人面談の講師評価※
(個人レポート内容、プレゼンテーション、講師からの質疑受け答え)
- IEインストラクター模擬講義の講師評価
- スクーリング出席率 ● 課題提出率

※参加者本人が関わった自社の改善事例や経歴書等を個人レポートとしてご提出いただき、それに基づき面談をします。レポートの詳細および作り方はスクーリング内で解説します。



「単なる工程改善を学ぶのではなく、サプライチェーン全体で改革する」ということを学べた

このような方が受講しています

課題・ニーズ

- 現場でIEを実践できる人材を育てたい
- 工場全体の目標数値や指標を見直し、改善・改革・投資の立案、実行をしたい
- 勘・コツ・経験の職人作業を脱し、生産体系を確立したい
- IEの知識を学ぶだけでなく、社内に伝えていきたい
- IEを学び、海外拠点の生産性向上を目指したい
- デジタル人材を育成する前に、ものづくりの「原理原則」を学びたい
- 「SCM、ECMの改善、連携のヒント」を体系的に学びたい

所属部署

生産本部、生産企画、生産技術、生産管理、品質保証、品質管理、生産革新推進、研修センター、ものづくり塾、SCM、物流、購買、資材...など

※生産・製造部門以外の部署からも多数のご参加があります。ご不明な場合はご相談ください。

過去の参加企業(一部抜粋・順不同)

■ 電機、電気・電子、半導体、精密機器

オムロン／京セラ／シチズン電子／
新川センサテクノロジー／セイコーエプソン／
ダイヘン／ニコン／日立製作所／
日立ハイテクマニファクチャ&サービス／
マブチモーター／ミスミグループ本社／
三菱電機／リコーインダストリー

■ 自動車、自動車関連部品

アルプスアルパイン／エフ・シー・シー／
GMB／トヨタ自動車／日清紡ブレーキ

■ 繊維、化学、金属、素材

カネカ／ガンゼ／堺化学工業／
住友金属鉱山／帝人／ポリプラスチックス／
レゾナック

■ 医療機器・医薬品

ダイト／帝人ファーマ／テルモ／
長野オリンパス／日廣薬品／ロート製薬

■ 設備・空調、建築、エンジニアリング

アルバック／川重冷熱工業／
CKDフィールドエンジニアリング／
積水エンジニアリング／ダイキン工業／
大成建設／東京電力ホールディングス／
ハマイ／ノーリツ

■ その他

オリエンタルランド／河合楽器製作所／
グロープライド／大和グラビヤ／タニタ秋田／
タマス／凸版印刷／阪急阪神エクスプレス／
両備ホールディングス／YKK

など

受講者の声

自社のものづくり研修所でIE関連のインストラクターを担当することになり、過去の偏った知識をリフレッシュしたいと思いました。

実際に受講してみて、講師の話も分かりやすく、メンバーの皆さんも優秀な方が集まっていたので、とても刺激になりました。

工場全体の目標数値を、現場レベルの数字にまで分解する流れが非常にわかりやすかったです。生産性の見方、考え方を学べたことが大きな収穫でした。

改めて目標の見直しをしたいと思います。

SCMや調達については今まであまり関与してこなかったため、非常に勉強になりました。

工場改善をしていくうえで、調達や物流の担当者と一緒に学んでいきたい内容でした。

基本ができていない人は遠回りし、残業を何十時間もするなど効率が悪くなってしまいます。また、自己流の学習には限界があります。この研修ではIEの基礎的な技術や考えが学べたとともに、新しい視点に気づくことができました。

修了者の方々や講師の
インタビューは
WEBサイトからも
ご覧いただけます

生産プロセス

検索



<https://jma-iepro.com/>





効果的・効率的に理解が深まるカリキュラム

試験日まで、何回も復習できる

オンデマンド講義

リアルタイムに質問、他参加者の視点がわかる

スクーリング

コースの ポイント



POINT
1

ものづくり・現場の原理原則をIEから学ぶ

IEの概念論だけでなく、実践的かつベーシックな改善手法を体系的に学び直します。現場経験のみでIEを学習したことのない方も安心してご活用いただけます。

サブ教材として「IE基礎テクニック習得コース」「IE基礎分析手法習得セミナー」の特典講義(オンデマンド動画・無料)もついています。

POINT
2

単なる工程改善(部分最適)から生産革新(全体最適)の視野へと広げる

生産・製造だけではなく、開発・購買・物流などサプライチェーン全体を俯瞰した知識や、経営・現場の管理・評価手法やマネジメント、競合との差別化等の経営戦略なども学び、目先の現場改善ではなく、工場そして企業全体の改善活動へ視野を広げます。

POINT
3

社内のIEを指導・育成するキーパーソンに必要な教育内容を学ぶ

IE基礎テクニックの教え方や、すぐに使える分析シート等を収録した「IE教育の虎の巻」「IEインストラクターマニュアル」は、社内研修でも利用でき、講師としてのスキルアップが図れます。

講師から皆さまへ



角田 賢司
(株)日本能率協会
コンサルティング
シニア・コンサルタント

「生産革新プロフェSSIONALコース」では、IEだけに限らず、幅広い知識を身につけていただけるような工夫をしています。

例えば、購買の領域やサプライチェーンの領域、あるいは品質、量産立ち上げといったテーマも取り入れ、**製造現場のみならず、周辺領域にまで視野を広げていただくような講義内容**となっています。

この研修で学んでいただき、IE士として認定されれば、現場で使える手法がたくさん身につくだけでなく、これまでと比べて**実践力も高まった状態**でそれぞれの職場に戻っていただくことができ、活躍の場がさらに広がると思います。

現役の 講師陣は
生産コンサルタント!

角田 賢司	日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント(第1・4・5単位、スクーリング)
石田 秀夫	日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント(第2単位、スクーリング)
武田 啓史	日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント(第3単位、スクーリング)
伊庭 栄	日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント(スクーリング)

「現場の効率性を評価するための各ツールを学ぶ」という以上に「マネジメントの部分で必要とされること」に

多くの気づきがありました

(2021年度受講生)

受講スケジュール／各単位詳細・ポイント

★原則欠席不可

※進行の都合等によりカリキュラムや所要時間に変更がある場合がございます。予めご了承ください。

スクーリング

10月7日(月)	10月29日(火)	11月13日(水)	11月27日(水)	11月28日(木)~11月29日(金)	12月12日(木)	12月13日(金)
13:00~17:00	9:00~17:00	9:00~17:00	9:00~17:00	9:30~17:00	10:00~17:00	9:00~17:00
【開講式・オリエンテーション】 ●自己紹介 ※事前にPav作作成いただき、投影します ●概要説明 ●受講の流れ ●提出物の案内 ●IE士認定条件	【講義内容】 ●事前課題に基づきグループディスカッション 自社事例共有、質問／相談事項抽出など ●講師解説 【個人レポート作成相談】 【次回案内】 【IEインストラクター模擬講義準備】	【講義内容】 ●事前課題に基づきグループディスカッション 自社事例共有、質問／相談事項抽出など ●講師解説 【個人面談の案内】 【次回案内】 【IEインストラクター模擬講義準備】	【講義内容】 ●事前課題に基づきグループディスカッション 自社事例共有、質問／相談事項抽出など ●講師解説 【IE試験対策と傾向】 ●IE士認定試験(筆記)の試験対策 ●質疑 【次回案内】 【IEインストラクター模擬講義準備】	【個人面談】 ●個人レポートを基に発表／質疑応答 ※30分程度／人 ※面談時のみの参加となります。(2日間終日参加ではありません)	【IE士認定試験(筆記)】 ●筆記試験(90分) 【IEインストラクター模擬講義準備】 ●グループディスカッション ●リハーサル	【IEインストラクター模擬講義本番】 【修了式／閉講式】 ●認定証授与 ●講師より総括
通学	オンラインLIVE受講	オンラインLIVE受講	オンラインLIVE受講	オンラインLIVE受講	通学	通学

第1,2単位の事前課題提出

生産革新実現のためのマネジメント技術・リーダーシップを習得

第1単位	ものづくり改革のためのマネジメント技術 ・経営課題とものづくり改革 ・ものづくり改革の重点課題 ・ものづくり改革の目標設定と目標管理 ポイント 目標管理技術を中心に、目標設定、施策選定、実行計画、実績管理についてミドルマネジャーの役割と進め方を学ぶ。(約4時間)
------	---

生産革新実現のために視野を拡大

第2単位	ビジネスモデルに基づくQCDC目標の設定 ・勝ち続ける企業のポイント「差別化」 ・勝ち続ける企業の目標設定(企業事例)
	開発・生産融合の超垂直立ち上げ技術 ~オンリーワン商品の迅速な市場投入のために~ ・短サイクルで新製品を立ち上げるには ・量産化技術開発の課題と対策 ・量産準備・立ち上げ段階での課題と対策 ・量産立ち上げ段階での品質安定化策 マネできないものづくり戦略の考え方 ・これまでのものづくりの問題 ・なぜ技術で卓越して、儲けにつながりにくいのか? ・マネできないものづくり戦略の考え方 ポイント ビジネスの強みをどこで発揮するかを勘案したQCDC目標の設定方法と、短サイクルで新商品を立ち上げるための工場の役割と技術を学ぶ。高品質実現の技術と現場マネジメント方法等について学ぶ。(約5時間)

第3,4単位の事前課題提出

ものづくり力強化による競争優位を実現する

第3単位	顧客要求と経営効率を向上させる製品供給力の強化(SCM) ・SCM改革の必要性 ・在庫削減の基本的な考え方 ・SCM改革成功のポイント 調達コストダウン ・ものづくりによる調達の機能 ・競争購買の取組み ・戦略的内製化／外製化編成の考え方 ・査定購買と調達先強化 ポイント 購買技術(サプライヤーの評価、価格査定等の技術)について学ぶ。SCMにおける工場の役割と技術について学ぶ。(約5時間)
------	--

第4単位	人と設備を対象とした生産システム改革と人材活用 ・生産性向上とコストの関係 ・生産量の変化と生産性向上の関係 ・スキル伝承の仕組みづくり ・職場の特性と生産性の構造 ・生産性向上のレベルと対象 ・生産性向上のための生産システム ・生産システム決定の判断要素 ・設備に着目する生産性 ・情報システムと生産システム ・賃金と雇用形態 ・派遣活用の手順 ポイント 生産性向上について、生産システムの選択方法や作業者(派遣含む)のスキル伝承について学ぶ。(約4時間)
------	---

※所要時間は視聴と事前課題作成時間を加味しています。

第5単位の事前課題、個人レポート提出

第5単位	構内物流改革、材料歩留まり改革のアプローチ ・構内物流改革の2つのアプローチ ・材料歩留まり向上~歩留まりの構造と改善ステップ~ ・工場間移送 ・倉庫管理と現品管理 ・出荷業務設計 ・製造経費低減~コスト発生構造と改善手法~ ポイント 構内物流の効率化を、材料供給、仕掛品搬送、製品搬送について学ぶ。歩留まり向上、経費低減についてポイントに触れる。(約4時間)
------	--

さらに

特典講義として

特典1 IE基礎テクニック習得コース
(全5単位 約23時間)

特典2 IE基礎分析手法習得セミナー
(約2時間30分)

が「無料」で受講できます!

オンデマンド講義